

第1学年C組 図画工作科学学習指導案

授業者 佐々木 恵
研究協力者 長瀬 達也
教材分析協力者 石井 宏一

1 題材名 しんぶんしワールド

2 子どもと題材

(1) 子どもについて

絵を描いたりものをつくったりするのが好きな子どもたちである。休み時間には、自由帳に人物や恐竜、好きなキャラクターなどの絵を描いている子が多い。友達の絵に関心を示して、自分のノートに描いてもらうなどの関わりも見られる。

就学前には紙箱や空き容器を使った工作や折り紙、お絵かき、粘土遊び、砂遊びなどを経験している子が多く、自分のつくりたいものを自由につくるような活動を多く経験している。

1年生では、粘土の題材「みてみて、いっばいつくったよ」で、粘土で自分の好きなものを黙々と作ったり、できた形を何かに見立てて楽しんだりする様子が見られた。また、自分の好きなものをクレヨンで描く「すきなもの なあに」の学習では、描きたいものを次々に思い付いてどんどん描いていく子が多かったが、一つずつ時間を掛けて丁寧に取り組む子や、描きたいことが思い付かない子もいて、取り組み方に個人差があった。

(2) 題材について

本題材は、新聞紙をちぎったり丸めたりしながら、思い付いた活動をしていくというものである。新聞紙は身近な生活の中にある材料であり、大きさ、軽さという点からも低学年の子どもにはとても扱いやすい。ちぎる、破る、折る、ねじる、丸めるなどといった加工が簡単で、その加工の仕方によって手触りも違ってくる。また、切る方向や折り方、丸め方によっては強度のある材料となつて、立体的な表現をすることも可能である。普段はやらないような、クシャクシャにしたりビリビリにしたりというダイナミックな活動もできる。様々な表現方法を試しながら、その形や手触りから発想を広げていくことができるであろう。

自分の考えで活動を進める楽しさや、材料を扱う楽しさ、表現する喜びを十分に味わうことができる題材であると考え。本題材のこうした特徴をとらえ、**身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚を働かせ、活動を工夫してつくるといった資質・能力**を高めることを目指す。本題材では、特に、新聞紙を切ったり、つないだり、ねじったりして、活動をつくることに重点を置く。

(3) 指導について

本題材で育みたい力は、材料の特性や手触りなどから表したいことを思い付き、造形的活動を工夫する力である。そのために、まずは**材料である新聞紙に体全体の感覚を働かせて十分にかかわる時間を保証し、材料を形や手触りなどの造形的な視点でとらえる**という「見方・考え方」を働かせることができるようにする。導入では、新聞紙の大きさや扱いやすさを生かして、ダイナミックな関わり方ができるように工夫し、子どもたちの意欲を高めたい。

材料に十分関わったあとには、発展的な遊びの要素をもった活動ができるように、前時の活動での気づきを確かめて次の活動をする。気づきをみんなのものとして共有することで、**感性や想像力をさらに働かせて、そこから自分なりのイメージをもつ**という「見方・考え方」を使うことができるように図る。普段教室で使っているものとは違う机や椅子を置いたり、ある程度の高さにひもを張ったりして、**材料の特性から表したいことを思い付き、巻く、つるす、かぶせる**など、活動がさらに広がっていくようにする。子どもたち一人一人の思いや考え、つぶやきを共感的に受け止め、それが発展できるように子どもとの対話を通して思いを見取るようにしていく。

また、友達との関わりも大切にし、友達と仲良くかかわって活動している子どもを賞賛するなどして、協力しながら楽しく活動することで互いの思いが自然に交流できるように図りたい。

3 題材の目標〈記号は本校の資質・能力表による〉

- (1) 新聞紙の特性を生かして、破ったり、折ったり、丸めたりする方法を工夫し、造形的な活動をすることができる。 (c-12)
- (2) 新聞紙を破ったり、折ったり、丸めたりしながら、造形的な活動を思い付いたり、造形的な面白さや楽しさを感じ取ったりすることができる。 (b-5) (f-32)
- (3) 新聞紙の感触を楽しみながら、造形的な活動に取り組もうとしている。 (a-1)

4 題材の構想（総時数 3 時間）※「見方・考え方」を働かせた学習活動

就学前に経験してきた様々な遊び（砂場，粘土，お絵かき，折り紙など）

◎	時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
<p>・本題材で育む主な資質・能力</p> <p>・身近な自然物や人などの形や色などを基に造形的な活動を働かせ、活動を工夫してつくる力 (C-12)</p>	1	<p>(1) 体全体を働かせて新聞紙に関わり、思いのままに活動を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞紙を思い切り破くと楽しいね。 ぎゅっと固めるとすごく固くなるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 砂や粘土，折り紙など，これまで経験してきた材料についてみんなで話し合い，本時の材料についての興味を高められるようにする。 みんなで一斉に新聞紙を裂いたり丸めたりすることや，材料とダイナミックな関わり方ができるような導入を工夫し，体全体を働かせて新聞紙の特性を味わうことができるようにする。 子どもが見付けた表し方に名前を付け，キーワードにして全体で共有し，それを使ってどんな活動ができるか話し合うことで，次時の見通しをもつようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙の楽しみを形的に取る。 (a-1) 新聞紙の感触を形的に取る。
	2	<p>(2) 新聞紙の特性から表したいことを思い付き、造形活動を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ひもに引っかいたら面白そうだな。 秘密基地にして友達を呼ぼうかな。 友達よりも長くするぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動場所にひもを張り，新聞紙を引っかけたり，結んだりできるようにして，新たな発想を広げられるようにする。 前時に見付けた表し方を示すことで，取り掛かりに時間がかかる子どもも自信をもって取り組めるようにする。 新聞紙で思いのままに形をつくり，手触りを味わって子どもを称揚したり，子どもの思いに共感した声掛けをしたりすることで，表現の工夫を全体に広めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙を破ったり，折ったり，丸めたり，造形的な形を思い付ける。 新聞紙の特性を生かして造形的な活動をする。 新聞紙の特性を生かして造形的な活動をする。
	3	<p>(3) 活動を互いに見合い、よさや面白さを味わいながら造形活動をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時に使った新聞紙を使いながら，友達と一緒に活動することで互いの活動をふり返ったり，新しい表し方を見付けたりして，よさや面白さを味わうようにする。 新聞紙に込めた子どもの思いを引き出しながら取り組むのよさを賞賛したり，共感的な雰囲気をつくったりすることで，新聞紙による造形遊びで身に付けた力を確かめられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な面白さや楽しさを表したいことなど，どう表したいかについて取り上げて考える。

本題材の学習活動で働かせる主な「見方・考え方」

新聞紙に体全体で関わる中で，形や材料の手触りを生かして造形的な活動をする。

色紙ならべ (造形遊び)，「ゆめのまちさんちようめ」(紙箱や空き容器を使った工作)

5 本時の実際 (2 / 3)

(1) ねらい 新聞紙の特性を生かして、破ったり、折ったり、丸めたりする方法を工夫し、造形的な活動をすることができる。 <c-12>

(2) 展開

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の支援 評価
5分	① 本時の学習内容を知る。 ・ ビリビリしたら、へびみたいになったよ。 ・ ねじねじしたら、すごく硬くなったよ。 ・ ひらひらして、スカートみたいだったよ。 学習課題	<ul style="list-style-type: none"> 前時にみんなで見付けた、様々な形状の新聞紙を示し、活動の見通しをもたせる。 表したいことがさらに広がっていくように、場所の特徴についても知らせる。 子どもの発見した活動のキーワードやつくったものを掲示し、前時に悩んでいた子どもの活動のヒントになるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> もっと しんぶんしを へんしんさせよう。 </div>
30分	② 新聞紙の特性から思い付いた活動をする。 ・ ひもに結んでみよう。 ・ 引っかけたらひらひらして面白いね。 ・ 秘密基地みたいだね。 ・ 友達の新聞紙とつないだら楽しいよ。	<ul style="list-style-type: none"> 活動に見通しをもつことができるように、どうすれば新聞紙をもっと変身させられるのか、話し合う場を設ける。 活動場所にひもを張り、新聞紙を引っかけたり、結んだりできるようにして、新たな発想を広げられるようにする。 活動が停滞している子どもにはどんなことができそうか、新聞紙の特性などから考えることができるように、キーワードを示しながら子どもと一緒に活動する。 新聞紙の使い方や表現を工夫している子どもを称揚したり、子どもの思いに共感した声掛けをしたりすることで、自信をもって表現できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 新聞紙の形や特性を生かして、破ったり、折ったり、丸めたりする方法を工夫し、造形的な活動をしている。 <c-12> (活動・発言) </div>
5分	③ しんぶんしワールドを探検したり、友達の活動を見たりして、今日の活動をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> 活動でつくったもののお気に入りポイントを発表したり、みんなのしんぶんしワールドを探検したりすることで、楽しく鑑賞したり、自分の活動をふり返ったりことができるようにする。 新聞紙の形や特性を生かした取り組みのよさを教師が賞賛したり、発表を聞いたらみんなで拍手をしたりして、共感的な雰囲気をつくる。
5分	④ 片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> 短時間で協力して片付けることができるように、ゲーム的な要素を取り入れて楽しく取り組めるようにする。 活動でつくったものを大切にする意識を育むことができるように、つかった新聞紙をビニール袋に入れて、次時の学習でもみんなで使うことを知らせる。